

振興計画体系	総合戦略体系	事業名	事業目的	事業内容	令和5年度 事業費(千円)				前年度比	実施状況	成果	課題	今後の方向性
					国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計					
4	4	2	障害者相談員設置事業	地域相談員を配置し障害者に関する援護思想の普及等障害者の福祉の増進を図る。			194	194	194	6名に相談員を委嘱内訳 知的障害者相談員2名 身体障害者相談員4名	相談実績 R2 44件 R3 65件 相談員からの情報提供により専門職の介入等。	相談員の高齢化 相談員の担い手不足	継続
4	4	2	成年後見制度利用支援事業	成年後見制度を利用することが有用であると認められる知的障害者又は精神障害者に対し、成年後見制度の利用を支援することにより、これらの障害者の権利擁護を図る。	1290		430	1,720	1720	R2 2名報酬助成 240千円 R3 2名報酬助成 270千円	支援により成年後見制度に繋がりに、対象者の権利擁護が担保された。	2025年問題等を見据えた体制整備が必要。	継続 拡充
4	4	2	手をつなぐ育成会運営事業	障がいに対する偏見や差別のない地域社会づくりを目指すため、障がいのいる家族が、交流会や学習会を実施するに当たり、会員の会費だけでは運営が難しかったことから、合併前から運営費の一部を補助金として交付。			212	212	212	R2 153千円 R3 実績無し(コロナ禍により活動が縮小となったため) R4 申請協議中	団体の活動が社会に対して障がい福祉の啓発となっている。	団体の担い手不足 コロナ禍での活動方法の在り方検討	継続
4	4	2	身体障害者協議会運営事業	障がいに対する偏見や差別のない地域社会づくりをめざすため、障がいのいる家族が、交流会や学習会を実施するに当たり、会員の会費だけでは運営が難しかったことから、合併前から運営費の一部を補助金として交付。			247	247	247	R2 247千円 R3 実績無し(コロナ禍により活動が縮小となったため) R4 申請なし(自己資金対応)	団体の活動が社会に対して障がい福祉の啓発となっている。	団体の担い手不足 コロナ禍での活動方法の在り方検討	継続
4	4	2	軽度・中等度難聴児補聴器助成事業	補聴器の購入費用の一部を助成することにより、日常生活における言語獲得、コミュニケーション能力の向上、知識技能の習得等を図り、もって軽度・中等度難聴児の福祉の増進に資する。	81		81	162	162	R2 補聴器1台 140千円 R3 実績無し R4	過去2年実績なし	国県の制度に適用されない対象者の支援であり、実績の有無は制度事業に直結しない。	継続
4	4	2	意思疎通支援事業	聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等に、手話通訳者等の派遣の方法により、障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を行い、意思疎通の円滑化を図る。	85		29	114	114	過去3年実績なし	過去3年実績なし	国県の制度に適用されない対象者の支援であり、実績の有無は制度事業に直結しない。	継続
4	4	2	手話奉仕員養成研修事業	手話奉仕員養成カリキュラムに基づき、聴覚に障がいのある方々と手話によるコミュニケーション活動を図ることができる人材を養成する。	735		244	979	979	定員20名 講師2名(内1名ろうあ者) R2 20講座(基礎)5人修了 R3 24講座(入門)10人修了	講座卒業生が手話学習の自主サークルを立ち上げ、本市障がい福祉の啓発活動を担っていたにしている。	講座卒業後の生涯学習としての場が無かったことは懸念であったが、それも解消された。	継続
4	4	2	地域活動支援センター機能強化事業	障害者等と合わせ、地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供する地域活動支援センターの機能を充実強化し、もって障害者等の地域生活支援の促進を図る。	225		75	300	300	過去3年実績なし	市内での実績は無い。	障がいのある方の積極的な社会、地域でのケアには余暇支援が重要であることから、委託先の確保が急務となる。	継続
4	4	2	訪問入浴サービス事業	地域における身体障害者の生活を支援するため、訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図り、もって福祉の増進を図る。	377		126	503	503	R2 年間通して1名利用 R3 年間通して1名利用	支援により、本人の健全な身体が担保され、ご家族の心身負担も軽減された。	市内委託先が1事業所しかない。今後対象者が増えた場合の想定検討が必要。	継続
4	4	2	スポーツ・レクリエーション文化芸術活動振興事業	スポーツ・レクリエーション等を通じて、障害者の体力増強、交流、余暇等に資するため	41		14	55	50	H30R1 毎年各1回開催 参加者 100人程度 R2.3 コロナ禍により事業中止	障がい者等の日常生活の利便性の向上が図られ、健康の保持増進と日常生活の安定化が図られた。	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、あり方の検討が必要	継続
4	4	2	自動車改造助成・自動車免許取得費助成事業	重度身体障害者及び知的障害者が自立した生活、社会活動への参加及び就労に伴い、自動車運転免許を取得し、及び自らが所有し運転する自動車を改造する場合に、これらに要する費用を助成することにより、社会参加促進を図る。	300		100	400	400	R2 自動車改造費 3件 R3 自動車改造費 1件	障がい者等の日常生活の利便性の向上が図られ、健康の保持増進と日常生活の安定化が図られた。	特になし	継続
4	4	2	障害者虐待防止対策支援事業	障害者虐待を受けた障害者の迅速かつ適切な保護及び自立の支援並びに適切な養護者に対する支援を行う。	220		80	300	300	実績なし		対象者の緊急支援策であり、実績の有無は事業継続に直結しない。	継続